



たばこまち

学校の教育目標

進んで学び合う子
互いに思いやる子
体をきたえる子

平成28年度 青森市立荻町小学校 学校だより 第9号 12月21日発行 文責：相馬(教頭)

雪道を譲る笑顔

校長 福士博司

全校朝会で子どもたちに向けてこんなお話をしました。

去年の冬、雪がたくさん積もっていた市民病院前の歩道での出来事です。

その日、病院でお医者さんに診てもらい、向かいの駐車場にいくまでの歩道には、人が一人歩けるだけの道しかなく、その道も両側が雪で覆われていて、向こう側から来る人とすれ違いもできないほどでした。

すると、向こうから七十才近い男性と、その奥さんと思われる二人連れがやってきました。自分はどちらかという人に道を譲る方ですが、道の狭さを気にしながら、自分でいけるだけ行こう、どこかですれ違えることができるさ、と思って歩き続けました。お相手と十メートルぐらいに近づいた時、その男性が突然立ち止まりました。そして、「どうぞ」と手招きしています。それだけではありません、にこっと素敵な笑顔で導いてくれたのです。私は急ぎ足で進み、すれ違いざまに「ありがとうございます」とお礼を述べました。すると、男性は「どういたしまして」と笑顔で返してくれました。

男性はとてもおしゃれな服装をしていました。「どうぞ」「どういたしまして」の言葉に添えられた笑顔は、本当に根っからの紳士・ジェントルマンと思える上品さで輝いて見えました。心がおしゃれだと感じました。

私はすがすがしさを感じると同時に「恥ずかしい！」と思いました。あれは本当は私が譲るべきだったのです。年上に道を譲っていただいたことのあるありがたさを感じる反面、逆に相手に道を譲ろうとしなかった自分が恥ずかしくてたまらなかったのです。

そして、優しい言葉に添えられた男性の笑顔、あの笑顔こそ、あの方の心なのだ、紳士とは、心の中からにじみ出てくるものなのだと知らされました。

おはようございます、ありがとうございます、すみません……、生活にはお礼や挨拶などの礼儀がつきものです。そして、その人の本当の心は、表情に表れるものなのです。

みなさん、恥ずかしいことはありません、あなたの心が表れる笑顔と言葉で人と接するようになりましょう。私もその日から自分を鍛え、心を磨くように心がけています。「にこっ」「にっこり」。冬でも心がぼかぼかしますよ。「心のおしゃれ」を勧めます。笑顔も優しさもお金はかかりません。無料。でも、とても価値が高い・値打ちのあるものなのです。 (12月6日 生活科室にて)

この話の中で出てくる「心のおしゃれ」という語句について、理解していただけるとおり、うわべで飾り立てた心のおしゃれではなく、それぞれの心底から自然と湧き出てくる優しさや思いやりが生み出すおしゃれ、言葉を変えれば「心からの気遣い」を意味します。心がこもっていない言葉や行為も、心がこもった言葉や行為も、どちらも相手に心が伝わります。ただ、好意的に伝わるのがどちらかはお分かりのとおりです。言い方を変え、心配りをし、良好な人間関係の中で穏やかに生活できればよいです。

年末を迎え、今年1年間、大きな怪我・病気もなく、元気で無事に過ごしたお子さんの成長と努力を褒めてあげてください。そして、新年が皆様にとって、確かに成長し続ける荻小っ子にとって素晴らしい年となりますよう。よいお年をお迎えください。



FOTOKARCH

k2568530 www.fotoskarch.com ©

【PTA活動コーナー】

【PTA通学路除雪作業のお知らせ】

1/14(土)3学期始業式を前に学校周辺の通学路除雪作業を実施する予定です。11/15(火)の地域懇談会で除雪の取組が話題に出されたことを受けて、今回は各町会へも協力依頼をすることとしました。当日はより多くの方々の参加を得ながら通学路の安全確保に努めていきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。

- 実施日 平成29年1月14日(土) 9:00～10:30
- 葛町小学校玄関集合
- 学校周辺の通学路の除雪 ○準備物スコップ(雪ペラ)

【校外安全委員会による登校指導】

校外安全委員会が3学期が始まる日に合わせた登校指導の参加者を募集しました。ご協力をいただいた皆様に先日実施計画を配付したところです。厳冬の早朝での登校指導となりますが、子ども達のために指導して下さることに深く感謝申し上げます。なお、本校職員も一緒に安全指導にあたる予定です。

- 期間や実施時間帯等は以下のとおりです。
- 1/16(月)、17(火)、18(水) 7:20～7:50
- 指導場所(青柳橋、甘栄堂さん前、元トレンド脇、青柳公園)

【全校児童が参加した教育活動から】

【学習の定着をめざして】



12/6(火)第2回漢字・計算チャレンジを行いました。11/25～12/5の特訓期間中は、出題範囲の問題を熱心に解き、自分が決めた目標点数をめざしていました。

第1回時同様、この取組は本校児童の学習意欲を高め、基礎的・基本的な学習内容を定着させる上で大きな効果を発揮しています。

今回のチャレンジで培った集中力と持続力を冬休み中の家庭学習でもぜひ発揮してほしいと願っています。

【第4回全校なわとび検定】



子ども達は漢字・計算チャレンジの練習を重ねる一方、登校後の体力づくりや休み時間には元気に体育館へ向かい、なわとび練習に励んでいました。12/9(金)2学期最後のなわとび検定が行われました。各種目の検定がコールされると進級めざし果敢に挑戦しました。見事進級が叶った児童もいれば叶わなかった児童もいましたが、悔しさをバネに気持ちを切り替えられるところが葛小っ子のたくましさです。私たちはこのたくましさをこれからも大切に伸ばしていきます。

【地域連携コーナー】

【第4回参観日】



12/2(金)の参観日には、これまで同様多くの皆様にお越しいただき感謝申し上げます。今回は集金方法の変更(次年度から口座振替実施)とSNSトラブルから子どもを守ることを最優先にして説明しました。

特に、携帯電話やスマートフォン、ゲーム機の正しい使い方については、青森市教育委員会から、学校と家庭、地域が連携して指導にあたる旨の通知がありました。私たちは緊急課題と受け止め、トラブルの未然防止、早期発見に努めていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【雪よせ場としての学校開放について】

今年も学校の校庭を雪よせ場として開放いたします。「広報あおもり」にも掲載されましたように、次の点をご理解の上、ご活用ください。

- ◇本校の教育活動に支障をきたさないこと
- ◇スノーダンプやそり等人力で搬入すること
- ◇校庭の指定された場所のみによせること



この3点を踏まえて、本校では校庭バックネットの内側を雪よせ場に指定しました。皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

シリーズ:特別支援教育(第2回「障がい」について)

2回目は、特別支援教育のねらいにある「障がい」について紹介します。一般的に「障がい」は、(身体、知的、精神等)に分けられております。青森市内の小中学校の多くは、自閉症・情緒障がいを対象とした特別支援学級または知的障がいを対象とした特別支援学級を開設しています。「自閉症・情緒障がい」という言葉を初めて目にする方がいるかも知れませんが、これには自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい、言語障がい等が含まれます。児童の自立や社会参加に必要な支援と適切な指導が私たちの使命です。ですから、児童の実態から短期目標(例えば3ヶ月先にできるようなってほしいこと)や長期目標(例えば1年先に身に付けたいこと)を立て、今必要な支援・指導の内容を明らかにして日々の教育活動を展開しています。また、学習の場として、通常学級のほか、特別支援学級や特別支援学校がありますが、障がいの程度や学校生活の状況、保護者の願い等を学校と保護者が協議して進路を決定する場合があります。子どもの自立と社会参加を第一に考えた時、保護者と学校の強い協力関係、そして両者の粘り強い支援・指導が不可欠になります。

【1月の行事予定】

5日(木)	4年生学習会(8:30～11:30)
6日(金)	4年生学習会(8:30～11:30)
8日(日)	市PTA連合会新年交礼会
9日(月)	成人の日
10日(火)	4・5・6年生学習会(8:30～11:30)
14日(土)	PTA通学路除雪作業(9:00～10:30)
16日(月)	3学期始業式 登校指導
17日(火)	登校指導 給食開始 スキー学習開始
18日(水)	登校指導 学力テスト(全学年)
19日(木)	学力テスト(3～6年) 委員会活動
20日(金)	租税教室(6年)
24日(火)	児童集会
25日(水)	集金日 避難訓練
26日(木)	読み聞かせ 外国青年来校 委員会活動
27日(金)	浦町中入学予定児童体験授業(6年生)
31日(火)	全校朝会

【おめでとう】

「文集あおもり」 ◇作文の部 準特選 2年 □□ 凛 入選 5年 □□ 颯人
 ◇詩の部 特選 3年 □□ 花音 準特選 4年 □□ 健太
 入選 2年 □□ 悠愛 4年 □□ 仰基 5年 □□ 勇羽、□ 涼也、□□ 草太
 6年 □□ 元輝、□□ 光璃、□□ 李和